日本史演習8B－Ⅰ

科目ナンバリング　SEM-315
選択必修　　2単位

髙杉　洋平

1. 授業の概要（ねらい）

皆さんは史学科の学生です。医学部の学生が医学の専門家（もしくは専門家を目指す人）であるのと同様に、皆さんは歴史の専門家（もしくは専門家を目指す人）です。史学科に入った以上、専門家になってもらいます。そして専門家とはなんぞや？歴史上の固有名詞や年号をたくさん知っている人でしょうか？確かにそれも重要でしょう。しかしそれだけでは単なる物知りであって、専門家（プロ）とは言えません。医者が医者たる所以（ゆえん）は、医学上の知識の多少ではなく、その知識を活用して患者を治療できるか否かにあります。歴史の専門家も同じです。皆さんには歴史を通じて、現代政治や人間性を論じる能力を身に付けてもらいます。
そういうわけで頑張りましょう。

2. 授業の到達目標

①日本近現代史の研究の最前線を知る。
②発表・討議の能力を身に付ける
③歴史的問題を通して、現代的な政治問題を論じることができるようになる。

3. 成績評価の方法および基準

平常点100%

4. 教科書・参考文献

教科書
筒井清忠　大正史講義　筑摩書房
筒井清忠　昭和史講義３　筑摩書房

5. 準備学修の内容

発表者は担当箇所を精読し、レジュメを作成する。発表者以外も、事前にテキストを読んで、自分の意見・感想をまとめること。

6. その他履修上の注意事項

教科書を買うこと。教科書販売コーナーで買えます。

7. 授業内容

【第1回】　ガイダンス
【第2回】　報告・ディスカッション
【第3回】　報告・ディスカッション
【第4回】　報告・ディスカッション
【第5回】　報告・ディスカッション
【第6回】　報告・ディスカッション
【第7回】　報告・ディスカッション
【第8回】　報告・ディスカッション
【第9回】　報告・ディスカッション
【第10回】　報告・ディスカッション
【第11回】　報告・ディスカッション
【第12回】　報告・ディスカッション
【第13回】　報告・ディスカッション
【第14回】　報告・ディスカッション
【第15回】　まとめ・補足（LMS）